

図書館だより



令和5年9月21日

明和中学校図書館



まだまだ暑い日が続きますが、朝夕は涼しさを感じられるようになりました。そろそろ読書の秋です。図書館では皆さんがリクエストしてくれた本を中心に、新刊が入っています。体育大会の次は合唱コンクール、学習発表会と忙しい日々ですが、勉強の合間や一息つきたい時、図書館を利用してくださいね！



「中秋の名月」とは？

旧暦8月15日の月を「中秋の名月」と言います。いわゆる十五夜です。十五夜の日は毎年変わりますが、2023年の十五夜は9月29日。10月になる年もありますよ。「中秋」とは「秋の真ん中」という意味で、空気が澄んで月の高さもちょうどよく、収穫の時期であったため、お供え物をして月や自然に感謝するようになったと考えられています。

図書館にあるよ！

「月」に関する本



『月の満ちかけ絵本』

大枝史郎／文 佐藤みき／絵

月の満ちかけのしくみが一目でわかる。月と宇宙の豆知識も学べる絵本。

『世界でいちばん素敵な月の教室』

浦智史／監修

月はいつからあるの？ 月までの距離は？
地球に一番近い星、月について基本的な質問に答える本。



読んでみない？

『窓ぎわのトットちゃん』 黒柳徹子／著

映画化！

あまりに落ち着きがなく、小学校1年生で退学になってしまったトットちゃん。次に入ることになったトモ工学園は、電車の車両を教室にした、小さな学校でした。その校長先生は、トットちゃんが話したいことを全部聞いてくれて、いつも「君は、本当は、いい子なんだよ」と言ってくれます。黒柳徹子さんが子供のころの、本当にあったお話。

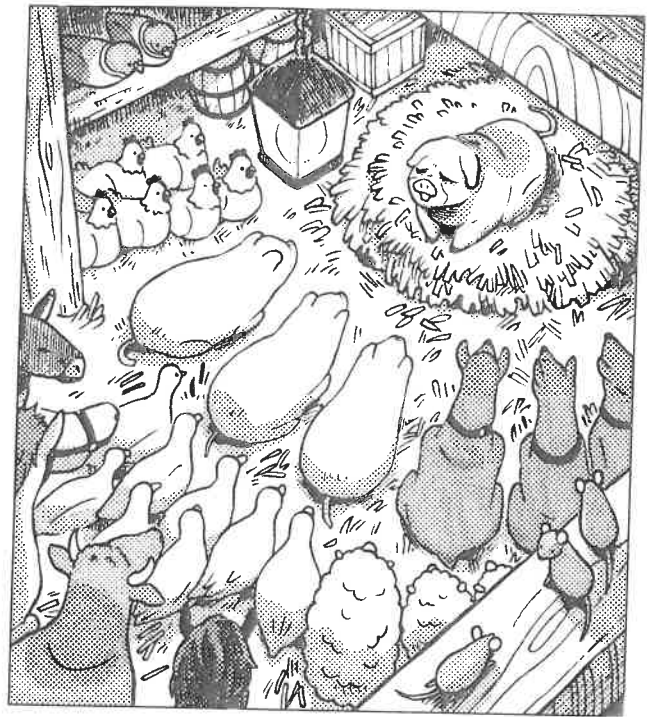
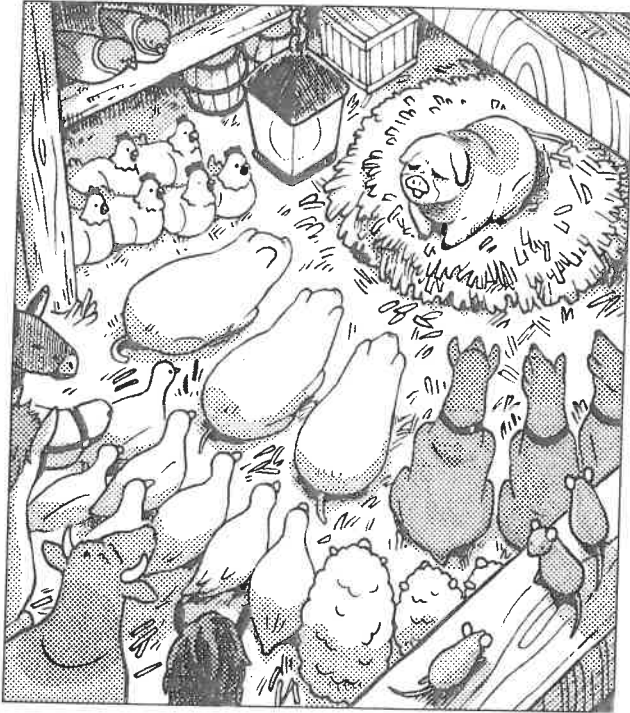
名作まちがいさがし

『動物農場』

ジョージ・オーウェル

老ブタは農場の納屋に集まった動物たちに「同志諸君」と呼びかけ、自分たちを酷使する人間に反旗を翻し、動物による平等な社会を築こうと訴えました。ウシやウマからネズミまで、あらゆる動物が興奮しながら賛同します。

下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください。



答えは図書館で!

作品の概要・解説

イギリスのある農場で、老ブタが動物たちに向かって、人間の欲深さと自分たちが搾取されていることを演説します。動物たちは団結し、反乱を起こして主人を追い出します。共和国「動物農場」を設立して、すべての動物は平等」という、動物主義の実践を試みました。

老ブタの死後には三匹のブタが後継者になりますが、その中の一匹による独裁が始まり、次第に特権を拡大していきます。その一方で、権力におもねる動物や脱走して再び人間の下で働

き出す動物も現れ、理想社会にほころびが生じはじめて……。

一九一八年のロシア革命とその後スターリン体制を描いた寓話的な作品で、いつの世も変わらぬ権力の腐敗や独裁の横暴が痛烈に批判されています。

著者であるジョージ・オーウェル（一九〇三～一九五〇年）はイギリスの小説家で、貧民街での生活やスペイン内乱への参加など、波乱に満ちた半生を送り、文明の姿を鋭く見つめる作品を残しました。代表作には、『デイストピアSFの「一九八四年」』などがあります。

※『動物農場』はKADOKAWAや早川書房、新潮社などから刊行されています。